



飛沫感染を避けることができます。特に、高齢者や慢性疾患を持っている人、疲労気味、睡眠不

日常の対策 人ごみを避ける

インフルエンザとは

“インフルエンザウイルス”によって引き起こされる感染症です。

2009年の冬までは、2つのA型インフルエンザ（香港A型とソ連A型）とB型インフルエンザのあわせて3つのインフルエンザが流行していました。これらをまとめて季節性インフルエンザといいます。2009年春からはそれらに加え新型インフルエンザが流行し、世界中に広がりました。季節性インフルエンザは、主に冬場に流行していましたが、新型インフルエンザは夏場にも流行しています。

インフルエンザにかかると38℃以上の急な発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、倦怠感などの全身症状が強くあらわれ、あわせて鼻水、咳、のどの痛みなどの症状もみられます。

高齢の方、妊娠中の方、乳幼児がインフルエンザにかかると、気管支炎、肺炎などを併発し重症化し、最悪の場合は、死に至ることもあります。

特に新型インフルエンザの場合はその危険性が増します。

そのため「インフルエンザかな？」と思われる場合は、早めにお医者さんを受診して、適切な治療を受けるようにしましょう。なお、受診の際にはあらかじめ電話を入れておくとうよいでしょう。

インフルエンザ対策

正しい知識や予防法を身につけましょう！



足の人、重症化する可能性が高くなるので注意が必要です。マスクを着用する「ゴホンー〇万、ハクショーンー〇万」という言葉がありますが、ウイルスは1回の咳で一〇万個、1回のくしゃみで一〇〇万個が空気中にばらまかれます。マスクを着用し、吸い込んだりヒトにうつしたりしないことが重要です。

特に普段から、中高年のおじさまたちは大きな声を出してのくしゃみや咳は止めて、必ずハンカチやティッシュで口を押さえるようにしてください。西洋の人はこのマナーを非常に大事にします。例えば、外国籍の飛行機に乗った場合にハン

適度な湿度を保つ (50〜60%)

ウイルスは湿度50%以上で生存率が急速に低下することが示されています。加湿器などを使って湿度を保ちましょう。



カチやティッシュで口を押さえないで大きくくしゃみや咳をするとキャビンアテンダントがティッシュ

十分な睡眠

睡眠不足からくる疲れ



適度な運動は体の調子を整えます。また、乾布まさつで皮膚を鍛えるのも効果的。寒さの刺激に

体調を整える適度な運動

栄養の偏りや食べすぎは、体の調子を崩します。お酒の飲みすぎも、同様です。免疫の力は、体の状態に左右されるもの。偏食・暴飲・暴食は控えるようにしてください。

バランスの良い食事と栄養補給

とストレスは、風邪に對抗する免疫の働きを弱めます。

強くなります。

極端な厚着、薄着をしない

あまり厚着をしていると、寒さに対する抵抗力がつきません。といって、無理な薄着は逆効果。

手洗い、うがいをする

あらかじめ習慣づけておかなければ、万全の予防策とはいえません。「流行り始めてからで十分じゃないか」と思っている間に、うつってしまうこともあるのです。風邪は季節を問いません。



機鋒

TOUGEN NEWS

2月1日（日曜日）

発行所 桃源院
発行責任 桃源院 広報部
〒191-0065 日野市旭が丘1-10-4
編集 桑原龍真 田中高文
桃源院アドレス
http://www.momo.or.jp/

花祭の

お釈迦様のバースデー

（お花見がおわってしばらくして、花祭りが四月八日に行われます）

インドのカレフ城で お妃のマーヤさまがご覧になった不思議な夢は天から白い象がまいる降って マーヤさまのお腹に入った夢でした。あまりに不思議な夢の後 マーヤさまは世継ぎの王子様をご懐妊されました。王子さまがお生まれになる日が近づき マーヤさまは故郷へ帰ることになりました。帰る途中 ルンビニーという花園へ立ち寄られました。花園にはアショカ（むゆうげ）という花が綺麗にさいています。赤・白・黄色 花咲き匂うルンビニーの花園で王子さま（お釈迦様）がお生まれになりました。きれいな花々の中で生まれた王子さまはすぐに六歩半進み 右手を天 左手は地を指さし「天上天下唯我独尊」大自然の恵みに包まれ 仏さまになれる可能性を秘めたひとりの人間として この世に生を受けた尊さを喜ばれました。天と地がお釈迦さまの誕生を喜び花々が咲き乱れ、動物たちが歓喜の声をあげ、天から甘露の雨が降り降りました。当院では四月八日（水）竹林庵に誕生仏（写真）をお祭りいたします。お誘い併せてお参りください。



大愚良寛

天真爛漫の禅者

子供らと手毬つきつつこの里に遊ぶはるひは暮れずともよし

大愚良寛（たいぐりようかん）（一七五八—一八三二）

栄蔵（良寛）は、七歳ころから漢学者・大森子陽の塾で地蔵堂（現・燕市分水）にある「三峰館」に通い、中国の古典も熱心に学んだ。良寛は宝暦八年（一七五八）越後国出雲崎（現・新潟県三島郡出雲崎町）の名家、町名主で回船問屋の橋屋山本家に生まれた。幼名を栄蔵といい、四男三女の長男。父、泰雄は名主（庄屋）にして、町にある石井神社の神宮を務め、以南という俳人でもあった。

しかし、十八歳で名主見習い役になったばかりの栄蔵は、突然出家の準備のため尻瀬の曹洞宗光照寺に身をよせ剃髪してしまう。栄蔵二十二歳の時、光照寺に備中玉島（現・岡山県倉敷市）の円通寺の住職・大忍国仙和尚が訪れた。ここで栄蔵は出家・得度し、良寛という僧名を与えられた。良寛は国仙和尚の崇高なる人柄に感銘し円通寺で約十二年間修業し、嗣法を受けた後、諸国行脚の旅に出る。

寛政八年（一七九六）新潟に戻り、四十七歳のとき国上山（現・燕市）にある国上寺の五合庵で約二〇年間を過ごす。その後十年間は五合庵のふもとにある乙子神社の草庵に移り住む。文政九年に国上山を離れて、島崎（現・長岡市）の名家・木村家に移住する。その頃、貞心尼と出会い和歌を詠みあい晩年心温まる交流が続いた。

天保二年（一八三二）、木村家で息を引き取る。享年七十四歳。



良寛は曹洞宗で、師の大忍国仙や開祖永平道元の教えをよく守り、生涯、寺を構えず、妻子を持たず、物質的には無一物に徹し、清貧の思想を貫いた。

良寛の漢詩は六百余首。日本を代表する詩人といわれる。

良寛の書は、自作の詩や歌をかけたものを中心に楷書、行書、草書、かな、手紙など様々の最高峰、日本美の極致と絶賛される。

良寛の俳句は百首ほどだが「たくほどは風がもてる落葉かな」など世界的に知られる名句を詠んでいる。

そのほか、子どもたちとまりつきやかくれんぼをして遊び、多くの逸話を残し、子どもから大人まで広く親しまれている。

禅、詩、歌、俳句、書、逸話などを総合した良寛の人間性が、多くの人々から敬慕されている。

大愚良寛は、托鉢の行に生涯を打ちこんだ。越後の蒲原平野、特にその西寄りには、良寛が鉄鉢を手にしてくまなく托鉢して歩きまわり、家々の門に立って経を誦まえ門付けしたところである。良寛は釈迦の原点を慕った。寺の住職となつて金襴の衣を着るなどは、どうしても彼には理解出来なかった。托鉢に必要な「三衣一鉢」のみ、そのほかは何も欲しいものはなかったのである。



五合庵

また、自分で出来もせぬことを大げさに説法して民衆の崇敬を受けることなど、彼には思いもよらなかったのである。

「生涯身を立つるに懶く、臆々天真に任ず」と、みずから語ったように、立身出世は彼の性に合わなかった。天真がいちばん彼の性に合った。すべての虚飾を取り払って、天真らんまん、文字通り行雲流水の生活を愛したのである。

良寛は隠遁詩人の系統に属した。仏教の世界もまた名利の欲にまみれる僧侶たちによって久しく独占されていたから、自分の志を貫くにはいわゆる正統派から脱して、われ一人の道を行くより他はなかったであろう。彼はこれを隠遁の姿のなかで守り、その心は揺るぐことがなかった。

国上山に草庵をむすんで一人で坐禅したが、その隠遁は決して逃避では

なかった。彼はどこまでも人間を信じ、衆生を愛し、子供が好きであった。托鉢とは、衆生済度の為に衆生の正常な供養を受けることである。



讀んで大衆に白す、生死事大、無常迅速、各々宜く醒覺して、讀んで放逸なること莫れ

生まれて死ぬ一度の人生をどう生きるか、それが仏法の根本問題です

長生きすることが幸せでしょうか、それでもありません。短命で死ぬのが不幸でしょうか、それでもありません。問題は、どう生きるかなのです

この世において、生まれたものは死に、会ったものは別れ、持ったものは失い、作ったものはこわれ、時は矢のように去っていきます

すべてが「無常」です。無常ならざるものはあるでしょうか

：こう唱えながら托鉢をする姿、彼は大衆と心をかよわせたのである。「ほれ、良寛さがきた！」といつて、人々は心からなる清浄な供養をした。

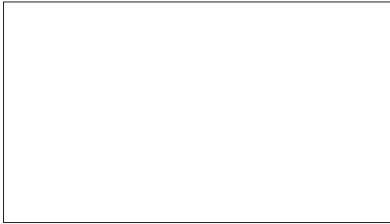
大自然もまた、春の若菜、秋のみじをささげて、この行乞の良寛に供養した。

子どもらと手携はりて春の野に若菜を摘めば、幸しくもあるかな

長い北陸の冬が開けて、春の野に生える若菜は、良寛の食糧になくてはならぬものであった。子供らと手をつないで、ともに若菜摘みをするのは、行乞修行のあいだの大きな喜びであった。

鉢の子に すみれたむ ぼほ こきまぜて 三世のほとけに たてまつりてん

今日は夕暮れまで托鉢して回ったが、どうしたことか鉢いっぱいにならない。たんぼぼを摘んで鉢を満し、わが草庵に祀る三世（過去・現在・未来）の諸仏に供養しようというのである。「鉢の子」というのは、禅寺でいう「応量器」の一番外側の鉢、すなわち一番大



国上山

やまたづの 向ひの岡
に 小牡鹿たてり 神
無月
しぐれの雨に 濡れつ
つ立てり

托鉢の行き帰りに国上山を上り下りすると、彼のうしろから鹿がついてきたという。国上山の鹿が人慣れていたのは、村人の心がおだやかであったからであろう。万葉の古風を帯びる次の旋頭歌は、恐らくは無双の傑作で、永遠に歌い継がれるものである。

きな器のことであり、修行を許されてから、托鉢に食事に一生使う器であり、命よりも大事なものとされる。

良寛の愛用した鉢の子は、現在は燕市分水町の森山家に保存されているという。木製の黒塗りで少しひびが深く入っているが、暖かみが溢れ出そうなる神秘に満ちているのである。

ある日、良寛は花を摘んでいて、ふと気がつく、大切な鉢の子をどこかに置き忘れていた。良寛という人はいつもそういう間の抜けたところがあった。花の美しさにすっかり心を奪われ、何十

鉢の子・応量器



「しきたへの」は『家』の枕言葉。「家出せしよ

ある日、良寛は花を摘んでいて、ふと気がつく、大切な鉢の子をどこかに置き忘れていた。良寛という人はいつもそういう間の抜けたところがあった。花の美しさにすっかり心を奪われ、何十

この喜びを歌った長歌並びに反歌がある。

そのときの良寛の喜びようは、天におどり地におどり、手の舞い足のふむところを知らず、本当にその喜びたるや、たとえようがなかったそうである。

百姓がやってきて探す。二人、三人とやってきて探す。とうとう村中が大さわぎになって、みんなで手分けして探し回った。すると、一人の百姓が走ってきて、「これ、良寛さんの鉢の子じゃないか」

年来手放したことのない、命以上に大切な鉢の子を失ったのである。野の草をかきわけてさがしまわったが、どうしても見つからない。色を失い、あわてふためいて探したが、鉢の子の行方がわからないのである。

「良寛さ、そこでなににござらっしゃるか」

「大へんじや、鉢の子をなくした」

百姓がやってきて探す。二人、三人とやってきて探す。とうとう村中が大さわぎになって、みんなで手分けして探し回った。すると、一人の百姓が走ってきて、「これ、良寛さんの鉢の子じゃないか」

「しきたへの」は『家』の枕言葉。「家出せしよ

ある日、良寛は花を摘んでいて、ふと気がつく、大切な鉢の子をどこかに置き忘れていた。良寛という人はいつもそういう間の抜けたところがあった。花の美しさにすっかり心を奪われ、何十

この喜びを歌った長歌並びに反歌がある。

そのときの良寛の喜びようは、天におどり地におどり、手の舞い足のふむところを知らず、本当にその喜びたるや、たとえようがなかったそうである。

百姓がやってきて探す。二人、三人とやってきて探す。とうとう村中が大さわぎになって、みんなで手分けして探し回った。すると、一人の百姓が走ってきて、「これ、良寛さんの鉢の子じゃないか」

年来手放したことのない、命以上に大切な鉢の子を失ったのである。野の草をかきわけてさがしまわったが、どうしても見つからない。色を失い、あわてふためいて探したが、鉢の子の行方がわからないのである。

「良寛さ、そこでなににござらっしゃるか」

「大へんじや、鉢の子をなくした」

百姓がやってきて探す。二人、三人とやってきて探す。とうとう村中が大さわぎになって、みんなで手分けして探し回った。すると、一人の百姓が走ってきて、「これ、良寛さんの鉢の子じゃないか」

「しきたへの」は『家』の枕言葉。「家出せしよ

ある日、良寛は花を摘んでいて、ふと気がつく、大切な鉢の子をどこかに置き忘れていた。良寛という人はいつもそういう間の抜けたところがあった。花の美しさにすっかり心を奪われ、何十

この喜びを歌った長歌並びに反歌がある。

そのときの良寛の喜びようは、天におどり地におどり、手の舞い足のふむところを知らず、本当にその喜びたるや、たとえようがなかったそうである。

百姓がやってきて探す。二人、三人とやってきて探す。とうとう村中が大さわぎになって、みんなで手分けして探し回った。すると、一人の百姓が走ってきて、「これ、良寛さんの鉢の子じゃないか」

年来手放したことのない、命以上に大切な鉢の子を失ったのである。野の草をかきわけてさがしまわったが、どうしても見つからない。色を失い、あわてふためいて探したが、鉢の子の行方がわからないのである。

「良寛さ、そこでなににござらっしゃるか」

「大へんじや、鉢の子をなくした」

百姓がやってきて探す。二人、三人とやってきて探す。とうとう村中が大さわぎになって、みんなで手分けして探し回った。すると、一人の百姓が走ってきて、「これ、良寛さんの鉢の子じゃないか」

「しきたへの」は『家』の枕言葉。「家出せしよ

ある日、良寛は花を摘んでいて、ふと気がつく、大切な鉢の子をどこかに置き忘れていた。良寛という人はいつもそういう間の抜けたところがあった。花の美しさにすっかり心を奪われ、何十

この喜びを歌った長歌並びに反歌がある。

そのときの良寛の喜びようは、天におどり地におどり、手の舞い足のふむところを知らず、本当にその喜びたるや、たとえようがなかったそうである。

百姓がやってきて探す。二人、三人とやってきて探す。とうとう村中が大さわぎになって、みんなで手分けして探し回った。すると、一人の百姓が走ってきて、「これ、良寛さんの鉢の子じゃないか」

年来手放したことのない、命以上に大切な鉢の子を失ったのである。野の草をかきわけてさがしまわったが、どうしても見つからない。色を失い、あわてふためいて探したが、鉢の子の行方がわからないのである。

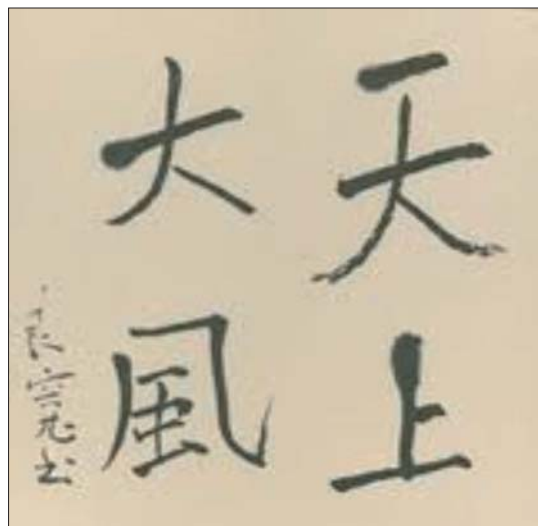
「良寛さ、そこでなににござらっしゃるか」

「大へんじや、鉢の子をなくした」

百姓がやってきて探す。二人、三人とやってきて探す。とうとう村中が大さわぎになって、みんなで手分けして探し回った。すると、一人の百姓が走ってきて、「これ、良寛さんの鉢の子じゃないか」



良寛書の天上大風



みを取って一人宮古島に遊んだことがある。宮古市熱帯植物園と総合博物館を訪れる途中に、広い店構えの「宮古焼き」の窯元の店があった。時間が十分にあったのでその店に冷やかして入った。中央には陳列の大きな台が並び、壁には一面に数段の陳列の棚が設けられていた。所狭しと並べられてある陶器の作品の棚の真ん中に色紙が飾られていた。それには太い毛筆の字で「天上大風」と書かれていて右下に「前総理大臣 中曽根康弘」と揮毫してあった。店の人に聞くと、ちょうど前日に来店した折りに頼んで書いて貰ったのだという。書いて貰ったのはいいが、意味がさっぱりわからないという。そこで

浅はかな知識を披露して、子供らが真っ白な紙を貼った風を揚げようとするが風がなくてなかなか揚がらない、その子供らにせがまれた良寛さんが書いたもので、大空高くにはごうごうと大風が吹くようにという願いかである。もう一つの意味としては、この地上の世でこそまじい雑念など吹き払ってしまえ。大空高くには、ごうごうと音を立てて大風が舞っているのだから。今で言う「偏西風」の吹く高さまでたどり着くのかな。と説明したら。大学ノートを持ってきて、これに書いてくれと言う。そこまではいいから、覚えておいてくれと言って、それに気分を良くして数点の品を買ってきた思い出がある。

る。

良寛は歌においては、当時の新古今調にあきたらず、万葉のいにしえに帰ろうとした。そうして魂の喜びと歎とを歌いあげて天眞の調べを打ちだした。まことに大愚良寛は復古の人であった。曹洞宗の宗祖道元は「慕古」ということを志の切なるしるしとした。いにしえを慕うのである。源流にさかのぼるのである。今のこの身にしえを生きているのである。道元は、それゆえに「赤肉団辺振古風」といった。赤肉団とは赤い肉の団子、つまり今のこの身のことである。「赤肉団辺に古風を振るう」：今この身にしえを生きて、その源をこの身を以て発揚するのである。

新しきを求めて「進歩せよ、進歩せよ」といった当時、江戸末期の文化人は、短時間にしてその生命・特色を失い、今ではすっかり忘れられてしまっている。ひとり時流を追わず、主流を遥かに遠離して、ただ一人いにしえ慕った良寛が、いまなお燦然たる光を放っているのである。彼は歴史のなかにはいない人である。すべての人は、ほとんど例外なく、歴史の一頁ないし一

行の人となるべく、ひしめき合っている。何かの功を立てたいし、号令をかけたく、有名になりたいく、とにかく名を後世に残したいのだ。

良寛はそうでなかった。彼は、一般の歴史の中に存在しない。宗教史のなかにも存在しない。宗教史上に何かを成した僧侶なのか、いや、ほとんどなにもしてはいないのだ。禅史のなかには、ほとんど席がない。禅師でもなければ管長でもないし、のちの代に何の影響を与えた少しもさだかでないのだ。

しかも、そうした歴史の上の人よりも、遙かに光りかがやいている。このような人を「散聖」と名づける。あたかも天の使いのごとく、ぼつりと現われて、ぼつりと姿を消し、しかも歴史上の人よりも永く光を放ち、人間において支えるべき最も大切なものを支えているのである。このような歴史の枠からとびだした人間がいることが貴重なのだ。

托鉢をおのれの生命としたのである。偉くならうなどとは夢にも思ったことがないのだ。驚くべき人であり途方もない人である。

冬ごもり 春さりくれ
飯乞ふと 草の庵

を たちいでて 里に
いゆけば 里子供
今を春べと たまぼこ
の 道のちまたに 手繰
つく 我もまじりて そ
の中に

ひふみよいむな 汝
がつけば あは歌ひ
吾が歌へば 汝はつく
つきて歌ひて 霞た
つ
ながき春日を 事らし
つるかち

霞立つ ながき春日を
子供らと 手繰つきつ
つこの日くらしつ

この長歌の方はやはり古今の絶唱である。大切な鉢の子を失ったように、ここでも大事な托鉢を打ち忘れて、ひねもす子供と、毬つきをしてしまった。けれども、その「ひふみよいむな」「一二三四五六七」こそは、

歌人のわざでなく、怠けものの遊びでもなく、これぞ「天眞仏」の成り姿である。仏々祖々の遊戯である。まさに遊戯三昧である。

この三昧は、いわゆる歴史のセンスでは到底とえられない。いわば歴史の網の目にはかからないものだ。

歴史は相も変らず縦の糸は権力欲、横の糸は名声欲、そして徒党心理に染められて展開してい

る。そういう欲の世界に反抗した人でも、反抗することによって生ずる後代への影響を計算に入れている場合が多い。むしろ例外はある。維新の志士たちの歌の中には、その稀な例外がある。けれども、歴史の枠を飛び出して、歴史に入らぬ散聖の存在は、私には非常に意味深く感じられる。

おおよそ真実一路ということは、あらゆる枠を一切合財取り払った上に成り立つのではない。学問も、恋も、いうところ欲がなくなることでないか。欲があったら、それらを切って捨てて捨てるのである。

このようなことは人間の性の能くするところではない。つまり人間のわざではないのである。

人間のわざにはばりついたヒューマニズムなんぞに、この世界が見えよう筈はない。それは人間が人間でなくなる世界である。すなわち、自分というものを死に切った世界である。

洞山良价禅師（中国の唐代の禅僧。五家七宗の一つ、曹洞宗の開祖。高弟に曹山本寂がおり、宗派の名は洞山とこの曹山から二字ずつとって当初は「洞曹宗」を名乗ったというのが通説）は



「棺桶の中からのものを言え」といった。もう身分も飾ることもプライドも見栄も欲も得もなく、死の恐怖さえも無い、棺桶の中からのものをいうのだ。そのなかにのみ清浄な真実というものがあ

あたかも良寛は、彼はただ庶民や子供の中に融けこんだのではない。真実一路、すべてを取り払って、あたかも棺桶の中

からものを言っているように、その心、その言葉、一挙手一投足が清浄な真実の仏性そのものになったのだ。

そして、庶民にも子供にも仏性があると、良寛が姿を見せると、その仏性が働きだし、「感応道交」たがいに作用し合って、ともにともに一心不乱になって、野に山に時間忘れて遊ぶことができたのである。

新スタッフ 富田琢磨 師

山梨県出身の富田琢磨と申します。修行道場の門を叩いてはや十年以上になりました。現在三十四歳の若輩者であります。宜しくお願ひ致します。

正法眼蔵随聞記の中に「玉は琢磨によりて器となる。人は練磨によりて仁となる。」とあります。正法眼蔵随聞記というのは、道元禪師がお話になったことを弟子の懷契禪師が日記として残しておいた書物です。私の名前は琢磨と申しますので、このお言葉が好きです。

禅語に「水は万円の器にしたがつ」という言葉があります。水は入る器によって色々な形になります。また、水になったり、水蒸気になります。これは、その場の環境に合わせて柔軟であるという意味です。これを人に例えると、住んでいる環境や周りの人間関係によって良くも悪くもなるということです。知識や経験が増すと、自分の考えを主張するようになります。もしくは、物事を決めつけてしまったり、思い込んでしまうことが多いです。知識や経験がないと、その場所にあつたやり方や考え方を吸収しようとします。まずは水のように柔軟に、その場所の文化や環境に合わせて、そのやり方や考え方を学ぶことが大切です。「直心是道場」とは「歩歩是道場」ともいいます。素直な心でいれば、どこでも学びの場になります。俺のやり方とか私のやり方でなく、学ばせて頂くという気持ち一つで、水のようにどの器にも適応できる力がつくように頑張りたいと思います。



（＾＾）
ドヤッ！
一寸 自慢
親日国トルコを作った
エルトゥール号遭難者
介護

この頃テレビなどで話題の多いトルコは親日国として知られている。そのきっかけとなったのは、「エルトゥール号遭難事件」だった。1890（明治23）年に日本訪問を終えたトルコ使節団が乗る軍艦エルトゥール号が和歌山県大島の樫野崎沖で沈没した時に、村民は69名を救助し献身的に介護した。帰国できたトルコ人らは、日本人の親切さを語り続け、この出来事はトルコの歴史教科書に載るほどになった。今でもトルコの人々はこの事件を知っているという。1890（明治23）年、オスマン帝国（現トルコ）皇帝アブデュル・ハミット二世が派遣した使節団が、小松宮彰仁親王のトルコ訪問への返礼と親善を目的に日本を訪問した。トルコ使節団は明治天皇に拝謁して晩餐会に招かれるなど、盛大な歓迎を受け、3カ月間日本に滞在した。9月15日に使節団650人乗せた軍艦エルトゥール号は帰国の途に

就いた。日本の関係者は、この時期は台風季節なので帰国を延期するように勧めたが、エルトゥール号はトルコへ向けて出発した。

不幸なことに途中台風に遭遇した船は、和歌山県大島の樫野崎沖で難破して沈没し、特使オスマン・パシャ提督を含む587名が死亡する大惨事となってしまった。船の沈没を知った大島の村民たちが崖下の海岸まで行ってみると、海面に投げ出された船員たちや船の破片を見て驚いた。

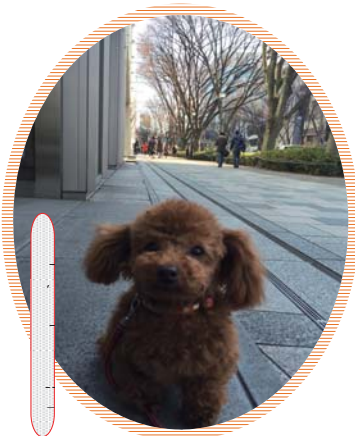
村民たちは、傷ついたトルコ人の血を海水で洗って包帯をしてやり、一人ずつ背負って断崖をよじ登って救助した。そして、火をおこすのもままならない中、意識を失って冷たくなっているトルコ人たちを、自分の身体で温めてあげた。

台風により出漁できなかったために食料が少なく、生存者たちに食料を提供して、村から食料が無くなってしまった。すると島民たちは、いざという時の為に貯えていた甘藷や鶏などまで提供して食糧の一切を与え、衣類も浴衣がある分だけ供出するなどして、69名のトルコ人を救った。

原宿・表参道

いま話題のパンケーキ屋さん

5選



Cafe Kaila (カフェ カイラ)

ハワイの雑誌「ハワイマガジン」主催のグルメ賞で、「ベスト朝食賞 金賞」を受賞。大勢のハワイの住民に認められたパンケーキだ。cafe kailaのパンケーキが一番人気のメニューのため、一日300食限定。

1' & S > 5 (% >)



Eggs'n Things (エッグスンシングス)

原宿でパンケーキブームの火付け役となった店。週末の行列は凄い。こちらもハワイがコンセプト。原宿の他に湘南と横浜にもある。たっぷりのフルーツや生クリームが特徴的で、甘くボリュームなのが特長のパンケーキ。

他にもロコモコやクレープなど、様々なハワイアン料理が楽しめる。甘いもの好きでなくても楽しめるお店。

1' & S



Bills (ビルズ)

“世界一の朝食”で話題沸騰のBills。表参道店は東急プラザの中にもあり、既に足を運んでいる人も多いはずだ。

7Fとは思えない緑豊かな景色も楽しめる。実は朝9時頃、そしてネット予約をすれば割りとスムーズに入れる。まだ行っていない方は狙ってみてはいかがだろうか



1' & S / t c4 (N ~

RAINBOW PANCAKE (レインボーパンケーキ)

ハワイで食べたパンケーキに感動し、日本でもこの味を、と始めたのがきっかけ。もちもちとした食感の美味しいパンケーキが楽しめる。ハワイの虹は6色らしく、ここでも6色の虹でデザインされていたり

お店の雰囲気 もとても良く、様々な部分で楽しめるお店だ。



1' & S \$ 5 (6 * \$ 5 ' (12 0 2 7

CLINTON ST. BAKING (クリントン ストリート ベイキング)

朝の8:00から営業している。ニューヨーク・マンハッタンにある『クリントン・ストリート・ベイキング』の世界2号店として、2013年8月にオープン。

骨董通りに面していて、朝8:00から営業している



(6 \$ 1 ' 2 ! 7 £ ! 7 £ -

桃源院本堂復興再建事業



平成27年8月末 完成予定



桃源院本堂復興再建事業

皆様から多くのご協力のもと、東日本大震災の被災から懸案となっていました、桃源院本院本堂復興再建事業は二ヶ月に亘る遺跡発掘作業を終え、十一月十一日に上棟式まで漕ぎ着けました。心からお礼申し上げます。

今後、建設委員会や護持会と、より一層連携を密にしながら完成までの再建事業を完遂してまいりたいと考えております。

また、皆様からいただいたご厚意に報いるために、布教活動にも、そして桃源院の檀信徒でよかったと誇れるように、立派な本堂の再建と境内地の整備に精一杯力を注いでいきたいと思っております。

どうか、今後ともお力添えをいただきたく、お願い申し上げます。

まずは略儀ながらご報告かたがたお礼申し上げます。

合掌

平成二十七年二月仏縁日

桃源院住職 奥野誠也

本堂復興再建委員会

委員長 佐々木明夫

建設委員会

委員長 大黒勝雄

平成27年度 春彼岸合同供養会のご案内

春待ち遠しい今日この頃、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年も春彼岸合同供養会を下記日程にてご案内いたします。

同封の申込用紙にご記入の上、**3月10日（土）**までに郵送かファックスにてお申し込み下さい。

	第1部	第2部	第3部
3月21日（土）	10時	12時	14時
3月22日（日）	10時	12時	14時

供養料 一霊 一万円

塔婆料 一本 二千元

- ☐ 桃源院駐車場は満車が予想されます。当日は、各法要開式30分前から豊田駅北口より送迎バスを運行いたします。どうぞご利用下さい。

- ☐ 10時、12時の部は大変混み合います。お時間にゆとりのある方は14時の部にご参加下さい。
お説教 御詠歌 簡単なお食事・お抹茶・お菓子もごさいますのでお誘い合わせの上お参りください。

- ☐ 『欠席供養』

当日欠席にての供養をご希望される方は、申し込み用紙に「欠席」とご記入の上、お手数ですが現金書留にてお申し込み下さい。ご供養の上「供養記念品」をお送りします。



5ページから続く

1892（明治25）

年、民間人の山田寅次郎（1866～1935）は5千円（現在価値で約1億円）

の義援金を集めてオスマン帝国を訪れた。山田が

遠い日本からはるばるやってきて、オスマン帝国

外相へ義援金を渡したことがトルコ人の間に広ま

った。すると、山田は熱

烈な歓迎を受け、山田は

トルコと日本の間を行き

来して、両国の友好関係

の構築に尽力した。山田

の発案で、現在も5年お

きに行なわれているエル

トゥール号遭難事件の

追悼祭も始められた。

このようなこと通し

て、トルコでは親日感情

が育まれていった。（関

連記事『日本とトルコの

友好に生涯尽くした山田

寅次郎』参照）

後の1985（昭和

60）年、イラン・イラク

戦争が勃発した。3月17

日、イラクのサダム・フ

セインは「今から48時間

後にイラン上空を飛ぶす

べての飛行機を撃ち落と

す」と宣言し、世界を震

撼させた。世界各国はイ

ランに住む自国民を救う

ために急に特別便を出

して救助した。しかし、

日本政府は素早い決定が

できず、日本人215人

はテヘラン空港に取り残

され、パニック状態に陥

っていた。タイムリミッ

トまであと1時間15分の

時、親日家のオザル大統

領の指示で飛ばされたト

ルコ航空機が現れ、日本

人は救出された。

日本は「危険だから飛

行機が出せない」と躊躇

していたが、トルコ政府

は「危険だからこそ、助

けに行こう」と決断した

のだった。

後に、前・駐日大使、

ネジアティ・ウトカシ氏

は次のように語ってい

る。

「エルトゥール号の

事故に際し、大島の人た

ちや日本人がなしてくだ

さった献身的な救助活動

を、今もトルコの人たち

は忘れていません。私も

小学生のころ、歴史教科

書で学びました。トルコ

では、子供たちでさえ、

エルトゥール号のことを

知っています。今の日

本人が知らないだけで

す。それで、テヘランで

困っている日本人を助け

ようと、トルコ航空機が

飛んだのです。」（関連

記事『イラン空襲から日

本人を救ったトルコの恩

返し』参照）

毎年、日本を訪れるト

ルコ人約5千人のうち数

百人はエルトゥール号

遭難現場で慰霊碑の立つ

和歌山県串本町へ足を運

ぶ。また、トルコの駐日

大使、武官は在任中に慰

霊碑に献花する習慣とな

2008年、6月7

日、トルコ共和国のアブ

ドゥッラー・ギョル大統

領は串本町にあるエルト

ゥール号遭難慰霊碑前

で開かれた追悼式典に出

席した。トルコ大統領が

慰霊碑を訪問し追悼式に

参列するのはこの時が初

めてだった。

2008年からトルコ

の民間研究機関「トルコ

海底考古学研究所」が、

日本でエルトゥール号

の遺品発掘調査を本格的

に開始したことで、ギョ

ル大統領が「ぜひ現地に

行ってみたい。エルトゥ

ール号救難へのお礼を

したい」と考えていたと

いう。

追悼式典でギョル大統

領は「住民の献身的な救

助は日本の伝統文化の象

徴。大変意義深い贈り物

だった」と語った。

同年6月5日に天皇・

皇后両陛下と会見したギ

ョル大統領は、「この事

件は日本とトルコの友好

関係の出発点になりました

と」と語り、感謝の言葉

を述べた。

